



<展覧会 開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）では、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生、卒業生に発表の場を提供しております。

この企画は、日本画を志す若手作家の育成と共に、各地域の文化芸術の支援活動を通じてあいおいニッセイ同和損保の活動指針である「地域密着」を具体化する取り組みです。

2023 年は、昨年の 7 校から新たに 2 校の美術大学を加え、9 校の若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（2 月～8 月）となります。

2 月 25 日（土）から、今年 2 校目の展覧会となる「武蔵野美術大学 日本画学科卒業グループ展」を開催いたします。

■タイトル / 「ITOGUCHI」

～第 14 回大学日本画展 <武蔵野美術大学日本画学科卒業生グループ展>～

■会 期 / 2023 年 2 月 25 日（土）～3 月 12 日（日） 11:00 ～ 19:00 *最終日 17:00 まで <月曜定休> 【入場無料】

* 新型コロナ感染拡大の状況により、開廊日や営業時間を変更する可能性があります

ご来廊の前には必ずギャラリー の HP/ <https://unpel.gallery> または Twitter/ https://twitter.com/unpel_gallery / をご確認ください

■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

■参加作家名（ふりがな）

- ・アルト・クサカベ（あると くさかべ）・小俣 花名（こまた かな）・後藤 まどか（ごとう まどか）
- ・蜂須 瑚々（はちす ここ）・村上 のどか（むらかみ のどか）

■展覧会内容

武蔵野美術大学日本画学科卒業生 5 名による展覧会を開催いたします。

脈々と続く歴史の縦の糸、同じ時代の仲間たちと紡ぐ横の糸。様々な「糸」が飛び交う中で、私たちはそれぞれが違った色の「糸口」を探し、自らの表現を模索しています。揺らぎながらも一人一人が異なる「ITOGUCHI」を求めて。

■みどころ

作家それぞれが、時に無意識に周囲の環境や状況、脈々と続いてきた創作の歴史と繋がりながら、自分らしい表現とは何か、追い求めて制作しています。本展示にて、その過程を体感していただけたら幸いです。

■主 催 / 武蔵野美術大学日本画学科研究室

■企 画 / UNPEL GALLERY

■協 賛 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

<ご連絡・お問い合わせ先>

■ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 中島・内城）

E-mail / tsubaki@un-pel.com <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

* お問い合わせは E-mail にてお願いします

●作家プロフィール

アルト・クサカベ Aruto Kusakabe



1997年 千葉県生まれ
2022年 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業
2022年 同学大学院造形研究科修士課程美術専攻日本画コース入学
現在第1学年在学中

【受賞歴】

2022年 Idemitsu Art Award2022 入選

【制作コンセプト】

一貫した制作テーマはなく、日々関心を持ったことに取り組んでいます。



『庭』 460mm×530mm

2022年 白象紙、岩絵具、鉛筆

蜂須 瑚々 Hachisu Koko



1999年 埼玉県生まれ
2022年 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業
2022年 同学大学院造形研究科修士課程美術専攻日本画コース入学
現在第1学年在学中

【展示歴】

2021年 「個展 ちかくてとおい展」 (Camarade store)

2022年 卒業制作展

「武蔵野美術大学日本画学科有志展 備忘録展」 (コート・ギャラリー国立)

【受賞歴】

2021年 第39回上野の森美術館大賞展 入選

2022年 武蔵野美術大学卒業制作展 優秀賞

再興第107回院展 入選

【制作コンセプト】

私にとって絵画は二尾を記す日記のようなものである。

『ウチトソト』 1980mm×1510mm

2022年 高知麻紙、岩絵具、水干絵具



小俣 花名 Komata Kana



1997 年 東京都生まれ

2019 年 武蔵野美術大学 造形学部 日本画学科 卒業

2021 年 武蔵野美術大学 造形研究科 修士課程 美術専攻 日本画コース 修了

2022 年 武蔵野美術大学 大学院 造形研究科 博士後期課程 造形芸術専攻
第2学年在学中

【展示歴】

2021 年 「小俣花名 個展」(コート・ギャラリー国立)

2022 年 「My sweet home」(下北沢アーツ)

【受賞歴】

2016 年 中札内美術村企画公募展「二十歳の輪郭」最優秀賞

2018 年 第41回 三菱商事アート・ゲート・プログラム入選

2020 年 FACE 2020 損保ジャパン日本興和美術賞 優秀賞

第46回 三菱商事アート・ゲート・プログラム入選

第22回 雪梁舎フィレンツェ賞展 優秀賞

2021 年 第6回 宮本三郎記念デッサン大賞-明日の表現を拓く- 特別賞「美しき未来にむけて」

第30回奨学生美術展 アワガミファクトリー賞

【その他】

2021年 公益財団法人佐藤国際文化育英財団 佐藤美術館 第30期奨学生

[パブリックコレクション] 六花亭製菓株式会社、郷さくら美術館

【制作コンセプト】

学部4年生まで岩絵具を使って、カラフルな具象画を描いていました。修士に入り、骨描きの延長で和紙に墨のみで描きはじめたのがきっかけで、現在は墨で白黒の作品を描いています。いつも身の回りの風景を、人物、動物、植物、光影、静物、建物、食べ物など…何でも描き、その様々なモチーフ達を詰め込めるだけ詰め込むと絵はどうなるのかという事を意識して取り組んでいます。

『晩ご飯』1830mm×1780mm

2022年 鳥の子1号紙、墨



後藤 まどか Goto Madoka



2000年 北海道生まれ

2022年 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業

2022年 東京藝術大学美術研究科デザイン専攻入学

現在同専攻第8研究室（draw）修士1年在学中

【受賞歴】

2020年 第20回佐藤太清賞公募美術展 板橋区長賞

2021年 第39回上野の森美術大賞展 入選

第56回神奈川県美術展 入選

2022年 武蔵野美術大学卒業修了制作展 優秀賞

第49回創画展2022 入選

FACE2023 入選

【その他】

2022年 神山財団芸術支援プログラム第9期奨学生

【制作コンセプト】

いま、ここで生活する中で感じる空気や気配を、色彩・形態に置き換えて制作しています。

目の見えない人にとっては遠近法は現実をリアルに表す文法にはならない、と気づいた経験から、写真のような画像はある人々にとってはまったくリアルではなく、むしろその場の空気のほうが絶対的なものなのではないかと考えるようになりました。



『またたく季節』910mm×1167mm

2022年 高知麻紙、楮紙、岩絵具、水干絵具

村上 のどか Nodoka Murakami



1994年 長野県生まれ

2017年 自由学園最高学部(大学部)卒業

2022年 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業

【展示歴】

2021年 武蔵野美術大学日本画学科有志展「備忘録」(コート・ギャラリー国立/東京)

2022年 令和3年度武蔵野美術大学 卒業・修了制作展(武蔵野美術大学鷹の台キャンパス/東京)

令和3年度 第45回 東京五美術大学連合卒業・修了制作展(国立新美術館/東京)

ギャラリーへ行こう2022 (数寄和アートギャラリー/東京)

【その他】

2022年 ドクメンタ15(ドイツ)へ武蔵野美術大学日本画学科研究室スタッフとして参加

【制作コンセプト】

自分自身の記録として、制作を続けている。

絵の具や素材が作り出す現象にきっかけをもらいつつ、感情の揺らぎや記憶を重ね、自分の制御を超えたところに生まれるものを見て、今も私は描き続けている。

私の作品は、現象と制御を連ねた記録、および個人的な記憶の記録である。



『record』 180mm×140mm

2022年 楮紙、墨